

富山県主催(大連YKKジッパー社協力)

中国大連での 企業実地研修

- 派遣先** 中国・大連
- 費用** 2019年度実績 約8万円
(渡航費、旅行雑費、滞在費(YKKが社員寮を提供)等を含みます。)
- 助成金** 2019年度実績 3万円
本学同窓会より
- 応募資格** ・富山県立大学に在籍する学生。
・国籍及び中国語のレベルは問わない。
- 人数** 2019年度実績 10名
(富山県内の他大学の参加者も含みます。
本学からは例年1~2名が参加します。)
- 実施期間** 実施の有無について未定《学生掲示板等でお知らせします》
2019年度実績 2019年8月24日(土)~8月31日(土)8日間
※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止
- 内容** ・大連進出企業への訪問・講演、YKKでの仕事体験、
日本人派遣員等との交流、大連外国語大学訪問等
・大連YKKジッパー社の社員寮で生活します。

※ 本学における単位認定はありません。



大連YKK日本人派遣社員と座談会



大連外国語大学の学生と交流

北陸銀行主催

海外研修 〈中国・大連企業視察〉

超短期!

- 派遣先** 中国・大連
- 費用** 2018年度実績 1万円
(北陸銀行がその他費用を負担。)
- 応募資格** ・富山県立大学に在籍する日本国籍の学生。
・日本企業の海外展開等に関心のある者。
・参加者は面接選考によって決定します。
- 人数** 2018年度実績 20名
(富山大学、金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学の参加者も
含みます。本学からは例年2名参加します。)
- 実施期間** 実施の有無について未定《学生掲示板等でお知らせします》
2018年度実績 2019年3月13日(水)~3月16日(土)3泊4日
※2019、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止
- 内容** ・大連市内企業見学、セミナー
・大連理工大学生との交流会
・旅順視察

※ 本学における単位認定はありません。



北陸銀行大連事務所でのセミナー



他大学の参加者や北陸銀行の方々と校友会

参加した学生の声



2019年度研修参加者
工学研究科 生物工学専攻・1年
中山 舞

私が本研修に参加した目的は、日本と中国のGapを感じ取るためです。研修では複数の企業を見学させていただき、その中で私が感じたGapは2つあります。1つ目は、中国では女性技術者の活躍が活発であるということです。見学させていただいたいずれの企業でも、「性別で仕事内容に差はない」という考えが根本に備わっていると感じました。2つ目は、主体性です。中国の方は行動力、発信する能力が非常に高いと感じました。私は将来、製薬会社に就職し研究開発職に就きたいと考えています。自分が成長するためには何か行動しなければなりません。また、いくら良い考えを持っていてもその考えを外に発信しなければ意味がありません。学生生活はあと1年半ほどですが、まだ1年半も学ぶ事ができる目の前にあるチャンスを無駄にせず、1つでも多くのことを吸収して社会に出たいと思います。私が感じた2つのGapを通して学んだことを生かし、ハングリー精神を忘れずに国境を越えて活躍する女性技術者を目指します。

※学生の学年は参加当時のものです。



2018年度研修参加者
知能ロボット工学科・2年
池上 怜汰

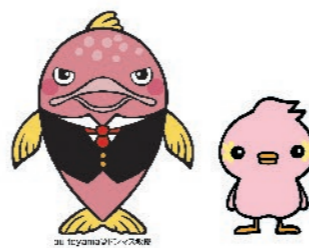
今回、私が本研修に参加することを志願した動機は、中国社会の現状を自身の目で確認したかったからです。研修2日目にYKKとコマツ NTCの現地工場を見学させていただきました。見学を通して大きく感じた点は、中国で働く従業員の意欲は日本人と変わらない、もしくはそれ以上であるということです。このことは3日目の大連理工大学の学生との交流でも感じさせられました。学生らは非常に流暢に日本語を話しており、日本語通訳として働けるのではと思うほどでした。驚いたことに彼らは大学に入ってから日本語の学習を始めたと話していました。以上の経験を通して、私は中華人民共和国という国の最大の強みは、政策実行の速さでも経済力でもなく、それらを支える国民の勤労さにあると考えさせられました。私自身が社会人となって海外の方と働く機会があるならば、是非中国の方と仕事をしてみたいです。

お問い合わせ・申込みは 富山県立大学

射水キャンパス(工学部・工学研究科) 事務局教務課窓口 TEL.0766-56-7500(代表)

富山キャンパス(看護学部) 事務部教務学生課窓口 TEL.076-464-5410(代表)

2021年3月発行



2021年度

富山県立大学

海外留学 プログラム

TPU STUDY ABROAD PROGRAMS



中国
瀋陽化工大学での
語学留学



アメリカ
ポートランド州立大学
での語学研修



中国
大連での
企業研修



富山県立大学



SHENYANG UNIVERSITY OF CHEMICAL TECHNOLOGY

瀋陽化工大学での語学留学

派遣先 瀋陽化工大学

1952年に設立され、工学教育を中心とした総合大学。学生数は約14,000名にのぼる。2011年に本学と協定を締結以降、互いに学生の派遣・受入を行っている。瀋陽市が位置する遼寧省は、1984年に富山県と友好提携し、両県省において幅広い活発な交流が行われている。



応募資格

- 学部・大学院に在籍する正規生。瀋陽化工大学への過去派遣学生、中国語を母語とする学生は対象外。【語学力要件あり(①②のいずれかを満たすこと)】
- ① 本学の授業科目「中国語Ⅰ」を過去に修得済みの者、または留学実施年度前期に修得見込みの者。
- ② 日本中国語検定協会が行う「中国語検定試験」準4級以上を合格している者、または留学実施年度6月検定試験で修得見込みの者。
- 参加者は面接選考によって決定します。

実施期間

実施の有無について未定(学生掲示板等でお知らせします)
2019年度実績 2019年8月26日(月)～9月14日(土)20日間
※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止

人数

10名(本学の学生のみ対象です。)

費用

2019年度実績 約13万円
(渡航費・宿泊費・教材費等を含みます。)

助成金

2019年度実績 5万円
本学後援会より

単位認定

- ① 初級中国語 → 中国語Ⅱ《1単位》
 - ② 中国事情 → 総合科目 ▶ 言語・文化 ▶ 海外留学科目(中国)《2単位》
- ※学部正規生のみ認定対象です

1日のスケジュール

- 6:00 起床 1
- 7:00 朝食
- 8:00 初級中国語 2
会話を中心とする教材で、中国語によるコミュニケーション能力を養います。
- 12:00 昼食 3
- 13:30 中国事情 4
集中講義と社会見学が行われます。中国人学生との交流活動も催されるなど、バラエティに富んだ内容です。
- 15:00 フリータイム 5
- 19:00 夕食 6
- 20:00 フリータイム 7
- 23:00 就寝

教授と学生チューターは日本語堪能なので緊急時も安心!



1 留学生寮では1人1部屋。他国からの留学生とも友達になれるかも!



2 発音練習など実践的な中国語を教えてもらえます。



3 3つもある学内食堂でチューターと一緒に朝食。食堂の焼きそばやチャーハンは絶品。



休日には瀋陽市の各種名所へ。チューターと一緒になので安心。



4 社会見学では九・一八歴史博物館へ。中国の視点から歴史を振り返ります。現地企業の視察も行い、中国の産業についても学びます。



4 社会見学では九・一八歴史博物館へ。中国の視点から歴史を振り返ります。現地企業の視察も行い、中国の産業についても学びます。



5 卓球大会!多くの時間をチューターと過ごすので、すぐに仲良くなります。



6 夜はチューターと外食することも。本場の餃子は一味違う!



6 夜はチューターと外食することも。本場の餃子は一味違う!



7 自主的に作成したPPTで出身地を紹介したり、寮の部屋に皆で集まって話したり。もちろん授業の予習と復習も欠かしません。



7 自主的に作成したPPTで出身地を紹介したり、寮の部屋に皆で集まって話したり。もちろん授業の予習と復習も欠かしません。

参加した学生の声



2019年度交換留学参加者
生物工学科・1年
伏見 咲楽

中国語はとても発音が難しく、最初のうちは、発音が違うと何度も言われました。知っている単語を組み合わせ、値段や、オススメ商品、辛いかなど、いろんなことを質問して買い物しました。自分の中国語が相手に伝わり、買い物できたとき、とても嬉しく思うと同時に、もっと中国語が喋れるようになりたいと思いました。富山県立大学と瀋陽化工大学が友好関係を結んだように、私も今回の留学を通して知り合った多くの中国人との友好関係を大切にしていきたいと思っています。



2019年度交換留学参加者
知能ロボット工学科・2年
島田 大道

私はスマートフォンに関心があり、事前に行っている調べたところ、中国のスマートフォンは性能がよくて安価であり、コストパフォーマンスに優れていると感じていました。そのため、中国で現地の人はどんなスマートフォンを使っているのかが興味がありました。中国でもApple社のスマートフォンは人気でしたが、一方で日本と比べてiPhone以外のスマートフォンを使っている人も多く、学生のスマートフォンに対する知識もとても深かったように感じます。また、スマートフォンを利用したキャッシュレス化の面などは、日本より中国の方が先を行っていると思いました。今回の中国留学で、私は中国について数えきれないほど多くのことを実際に見て感じる事ができました。この留学プログラムは、実際に海外で生活してみたい人にオススメです。



2019年度交換留学参加者
知能ロボット工学科・2年
山田 匠海

私が留学をした理由は、将来エンジニアになりたい、工業に栄え、近年都市化が進む中国へ行くのは良い経験になると思ったからです。また、日本とは異なる文化を一度見てみたいと思ったことも理由の一つです。チューターの学生たちは日本語が非常に上手く、また、日本好きだったため、向こうから積極的に交流を深めようとしてくれたことが印象に残っています。皆さん優しいです、友好関係を築けるかを心配する必要はありません。一緒に生活をし、初めてチューターの学生たちと学外へ行き、食事や買い物をしたときに仲良くなったと思います。この留学プログラムの魅力は、異なる文化を体験したり、様々な人と交流したりできることだと思います。中国は日本での印象よりも良い国だったということをお身近な人たちに紹介したいです。



PORTLAND STATE UNIVERSITY

ポートランド州立大学での語学研修

派遣先

オレゴン州ポートランド州立大学(以下、PSU)

1946年に設立され、226以上の専攻を提供するオレゴン州最大の総合大学。在学生約30,000人のうち、留学生は約2,000名。オレゴン州は1991年に富山県と友好提携し、富山県と最も結びつきの強い米国の州。



人数

2019年度実績 約50名
(日本の他大学の参加者も含まれます。本学からは例年春夏合わせて約10~20名が参加します。)

費用

2019年度実績 約50万円
(食費・渡航費・宿泊費・通学費等を含みます。)

助成金

2019年度実績 5万円
本学後援会・同窓会より

応募資格

学部・大学院に在籍する正規生

実施期間

- 夏期 2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止
2019年度実績 2019年8月22日(木)～9月15日(日)25日間
- 春期 実施の有無について未定(学生掲示板等でお知らせします)
2019年度実績 2020年2月13日(木)～3月8日(日)25日間
※2020年度は夏期・春期ともに新型コロナウイルス感染症の影響で中止

1日のスケジュール

- 6:30 起床
- 7:00 ホストファミリーと朝食
お弁当の準備 1
- 8:00 通学 2
- 9:00 英語授業 3
レベル別にクラス分けがあり、会話や発音練習など実用的な英語を学習します。
- 11:30 昼食
- 13:00 選択授業 4
ボランティア・ホスピタリティ・大衆文化から選択して受講します。
- 15:00 フリータイム 5
- 17:00 帰宅
- 18:00 ホストファミリーと夕食 6
フリータイム 7
- 23:00 就寝



1 お弁当は自分で準備します。学内のカフェやフードコートで買うこともできます。



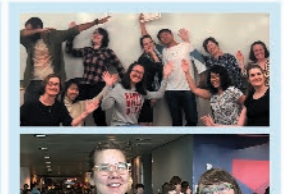
2 通学は、バスやライトレールで約50分。



3 パートナーとの会話練習。街に出て現地の方に街頭インタビューもします。



4 ボランティア実習。寄付された衣服の仕分け作業。



4 ボランティア実習。寄付された衣服の仕分け作業。



3 マルトノマ滝へ。PSU学生アシスタントと様々な場所に社会見学に行きます。

日本語が分かるスタッフもいて緊急時も安心!

PSUスタッフや学生アシスタントが、皆さんの生活をサポートしてくれます!



5 放課後にはPSU学生とサッカーをしたり、学内のレクリエーション施設でボウリングに挑戦。その他、プールやジムも自由に使用できます。



5 放課後にはPSU学生とサッカーをしたり、学内のレクリエーション施設でボウリングに挑戦。その他、プールやジムも自由に使用できます。



6 ホストファミリーと一緒に料理もします。



7 ホストファミリーと一緒に過ごします。アイスホッケー試合観戦に行ったり、子供たちと遊んだり。

参加した学生の声



2019年度春期語学研修参加者
生物工学科・1年
蔵野 天音

留学は初め、上手いかわからないこと続きでした。しかし、慣れくると、授業やホストファミリーとの関わりが楽しめるようになりました。午前の英語の授業では、アイスブレイクやゲーム、プレゼンテーションといったコミュニケーション中心の授業、午後の選択授業では、ウォールアート巡りや自身で注文したコーヒーの飲み比べなどポートランドの特徴を知ることができ、おもしろかったです。今回の留学では英語能力の向上はもちろん、海外旅行だけでは気づけない日本との違いをたくさん体験することができました。日本とはまた違う環境を生きている人と関わり、物事の考え方や視野が広がる貴重な機会になりました。



2019年度夏期語学研修参加者
知能ロボット工学科・1年
森 寛太

アメリカで生活することによって、今まで経験したことがなかった異文化を身をもって感じる事ができました。ホームステイ先から大学までバスで通学しており、バスの運転手と乗客がお互いに「Good morning」、「Thank you, have a good day」などと親しく挨拶することが印象的でした。また、買い物時には、店員と客が対等での距離が近いと感じ、日本との違いを実感しました。このプログラムに参加し他大学の初対面の人たちとコミュニケーションをとりプレゼンテーションなどをすることで、積極性やコミュニケーション能力が向上したと思います。この留学の経験を将来に活かしたいと思い、まずは英語の資格を取りたいと考えています。



2019年度夏期語学研修参加者
生物工学科・2年
前沢 菜緒

大学が手続きなどをサポートしてくれるのに加え、英語の単位を取得することも参加のきっかけです。ホストファミリーはビーチや滝、レストラン等様々な場所に連れて行ってくれたり、ボードゲームやラフティング、バーベキュー等いろいろなアクティビティを一緒にしてくれたり、とても充実した日々を過ごしました。午前の英語授業では教室での授業だけでなく課外授業で博物館や美術館へ行きました。午後の授業は「ホスピタリティ」を選択し、レストランでのサービスやチップの支払い方を学びました。最後の発表では英語で分かりやすく、聞き手に興味を持ってもらえる内容を考えているのが大変でしたが、終わった後は達成感でいっぱいでした。